

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 10 - 20

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	町道歩道整備事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		土木管理係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
事業の概要	本事業は、損傷が著しく歩行に支障をきたしている町道の歩道について整備を実施する事業であります。					全体計画 /期間限定複数年度 (平成 23 年度～ 24 年度)
				氏名	佐竹邦夫	氏名
実施方法						国・道支出金 千円
						地方債 26,000 千円
第 5 期 総合計画(前期)						その他 千円
						一般財源 千円
事業の位置付け						事業費計 26,000 千円
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	15,600 千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	3 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	15,603 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	歩道損傷による通行障害。		歩道整備延長	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	快適な通行の確保。		指標(指標計算式／解説)	目標値及び実績値
①歩道整備延長／歩道整備延長の実績	目標年度	平成23年度		
目標値	218.0 m			
実績値	218.0 m			
達成度	100.0 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	道路利用者の快適な通行の確保。		②	目標年度
				目標値
				実績値
				達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し歩道整備を実施した。			

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	道路利用者の快適な通行を確保することは、町が担う必要がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業を実施したことにより、快適な通行が確保された。
有効／概ね有効／課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	本事業を実施することで、快適な通行が確保されたことは、効率的であると判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

(4)事務事業の公平性

<b>公平</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	快適な通行の向上が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
公平／概ね公平／公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適當 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
町道の歩道整備を行い快適な通行の確保を図ることは必要であることから、計画どおり事業を進めることが適當であると判断する。		

今後の展開方向

(Action)

<b>継続／現状維持</b>		
損傷が著しく歩行に支障をきたしている歩道の解消を行い快適な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適當であると判断する。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

--